R6 年度　第三者評価

保育理念や保育目標は入園のしおりやパンフレット、重要事項説明書に明記されています。
学園の方針、理念に基づいての保育が行われています。年齢に応じた保育環境を整え安心で安全な環境で生活や遊びを豊かに展開されるよう努めています。
職員による手作り玩具などが子どもの目線に合わせて設置され、子どもの成長や季節に合わせて取り替えられています。
近隣には大きな公園があり、道路を渡るなどの交通ルールも自然に学ぶ機会があります。
また、自然物や自然事象に触れる機会が多く、個々に散策したり楽しむ中で、保育者は常に安全に気を配り、保育者同士声を掛け合う等がよくなされ全体に目を配られています。
食事では、アレルギー児の分は別にトレーに乗せて提供されています。食事の時間を楽しい穏やかな時間として過ごせるように、無理のない進め方で個々の意志を尊重しつつ過ごしています。
室内では、保育者が半袖で過ごせるほどの室温設定になっていて、戸外でも気温や天候を考慮して過ごしています。
成長の過程で生じる子ども同士のトラブルには、双方の気持ちを大切に個々の様子を見極めて対応し、年齢や成長によっては子ども同士で解決できるように見守り援助しています。
泣いている子どもに保育者は丁寧に対応し、連携して子の思いに寄り添い安心できるようにする姿が見られました。
朝・夕の合同保育の時間帯も異年齢との時間を有意義で互いに他児を思いやる気持ちや敬う心、憧れを抱き挑戦する心が自然と育まれる事を目標としています。
全体的に保育者の連携がよくなされていて、日々を安心して安全に穏やかに過ごす姿が見られました。